

# えべつ

角山・世田谷部落 70 周年 巻頭特集…p.2  
戦災から逃れてもうひとつの世田谷

## 目次

- 4 9/1 防災の日・9/9 救急の日
- 6 国勢調査にご協力ください！
- 8 10 月からバスの試験運行
- 11 開かれた市政を目指して 市民参加条例施行
- 12 市民文化祭参加者募集

### 千歳川をボートで探検！夏休み環境学校！

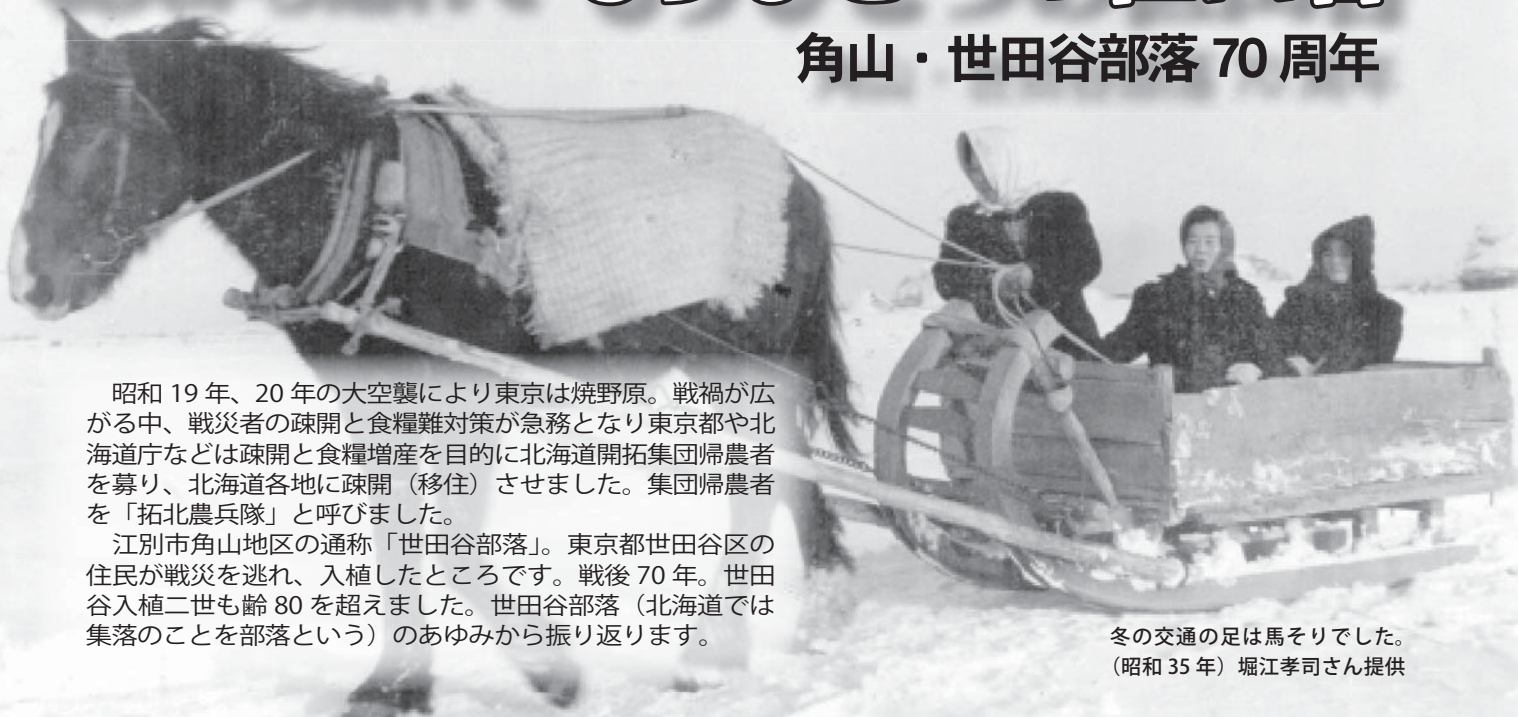
8月1日(土)、夏休み環境学校「ボートで学ぶ石狩川と千歳川」が開催され、市内の小学生27名がボートに乗って千歳川を探検しました。

子どもたちの多くはオールを持つのも初めてでしたが、すぐにコツをつかみ、息のあったチームワークでボートを乗りこなしました。千歳川の雄大さにふれ、楽しい夏休みの思い出の1ページとなりました。



# 戦災から逃れて もうひとつの世田谷

## 角山・世田谷部落 70 周年



冬の交通の足は馬そりでした。  
(昭和 35 年) 堀江孝司さん提供

昭和 19 年、20 年の大空襲により東京は焼野原。戦禍が広がる中、戦災者の疎開と食糧難対策が急務となり東京都や北海道庁などは疎開と食糧増産を目的に北海道開拓集団帰農者を募り、北海道各地に疎開（移住）させました。集団帰農者を「拓北農兵隊」と呼びました。

江別市角山地区の通称「世田谷部落」。東京都世田谷区の住民が戦災を逃れ、入植したところです。戦後 70 年。世田谷入植二世も齢 80 を超えました。世田谷部落（北海道では集落のことを部落という）のあゆみから振り返ります。

### 拓北農兵隊

空襲などの戦災にあった都市の被災者救援のため、政府は昭和 20 年 5 月「北海道疎開者戦力化実施要綱」を策定し、5 万戸、20 万人の集団移住計画を決定、新聞などを通じて移住者を募りました。北海道の集団帰農では、酪農学園の創始者黒沢西蔵氏の働きかけが具体化したものでした。

北海道庁内に「北海道集団帰農者受入本部」が設けられ、世田谷区民を含む第 1 陣が発したのが昭和 20 年 7 月 6 日。この集団帰農者が「拓北農兵隊」と呼ばれました。

東京からの第 1 陣約 200 世帯は 8 つの隊に分かれ、当時の江別町のほか、杉並区は手稲村、足立区は琴似町、目黒区などは豊平町、板橋区は札幌村、大森区は白石村、品川区などは角田村（現・栗山町）などそれぞれの地に入植しました。しかし、江別町や角田村などの一部を除き、ほとんどが厳しい自然環境に打ち勝てず、入植地を離れていきました。

疎開者などは昭和 20 年 10 月までに東京、大阪など 18 都府県から 3419 戸が全国各地に入植しました。この内、東

京からの疎開者などが 50% を占めていました。

### 原野は泥炭地

拓北農兵隊に応募した世田谷区民の職業は、教師、画家、俳優、鉄工業、菓子職人など農業とは無縁の人たちでした。

昭和 20 年 7 月 6 日午後 4 時 25 分、東京上野駅を臨時列車は、北を目指し出発しました。出発式には当時警視総監だった町村金吾氏（後の北海道知事）が見送りに来ていました。列車が野幌駅に到着したのは 7 月 9 日の早朝でした。野幌駅に着いた一団は、駅前の天徳寺での受入式で受け入れ農家と顔合わせをし、それぞれの農家に散りました。受け入れ先は機農部落 14 戸、西角山部落 4 戸、対雁部落 8 戸（計 26 戸）で、しばらくは分宿の日々でした。

当時入植した世田谷の人々を待ち構えていたのは、寒く厳しい未墾の地。入植地は泥炭地が広がる原野。割り当ての土地に通い、住宅作りが初めの仕事となりました。材料は原始林から切り出して運び、屋根と壁は周辺にあった茅や葦を刈り取り材料にしました。とりあえず雨露をしのぐ体裁のものでした。それでも年内に入居したのは 10 世帯

### 田辺 昭雄さん (88 歳)

世田谷上馬に住み、国鉄で電気技師をしていた。おやじ達は一足早く、角山に来ていた。昭和 20 年 10 月、長期の休みをとって角山に様子を見に来た。家づくりと越冬準備



の真っ最中だった。これは親一代の問題でない、おれも農業をやろうと国鉄を辞め、昭和 21 年正月に来た。世田谷二世になった。来る時に母方の実家（千葉県）からスイカの種を持たされた。種を植え、8 月のお盆には立派なスイカができた。後に「世田谷のスイカ」と評判になってよく売れた。

### 中村 秀哉さん (87 歳)

世田谷羽根木町（現・代田）にいた。農業には興味があった。昭和 36・37 年水害では厚別川堤防に牛を避難させ、乳搾りを堤防の上でやった。冬の厳しさは今と比較できない。住いは三角小屋で大雪で屋根が押しつぶされそうになったこともある。日々、畑仕事に明け暮れている時、堀江さん、田辺さんら同じ若い仲間と文学、音楽、俳句などの話題で話が膨らみ、皆で原稿を持ちより青年会誌「新雪」をガリ版刷りで作成した。振り返ると当時の暮らしが垣間見える。



### 中澤 和子さん (85 歳)

父は和菓子職人だった。15 歳で来た。現在の住まいは二度目の場所で、移転時の住宅は叔父さんの設計で建てた。古い家は雪で軒が一部破損しているが、木造平屋で煉瓦煙突がまだ残っている。当時は水、電気がなく難儀した。飲み水は泥炭の茶色い水だった。今では息子夫婦らが牛の世話などを頑張ってくれている。振り返るとあつという間の感じ。8 月 4 日、JR 京浜東北線の架線断線事故で桜木町駅と蒲田駅間が不通とのニュースを見て、江別に来るまで住んでいた蒲田を懐かしく見た。







入植当時の仮住宅

でした。また農作業は、原野特有の泥炭地との闘いでした。溝を掘り、水を抜き、客土（土砂の搬入）などの土地改良が地区全体で毎日続きました。厳しい冬の生活などの苦難に耐え、必死に切り開き、やっつけていける目途がつくまで10年かかりました。

## 電気が点いた

電気は今、全道くまなく電線が張り巡らされていますが、昭和30年代は未点灯地域がたくさんありました。角山の入植当時の灯りは、カンテラ、石油ランプでした。北海道電力は、入植者が増え、収益率の基準が超えたため、配電線延長に踏み切りました。当時、電力会社では1戸当たり1万900円までは負担しますが、それを超えた分は各戸

が負担しました。部落は残金1万5千円と労力を負担することになりました。労力は電柱の運搬と立てること、また、泥炭地で風が強いため、電柱根元に馬そり2台分の土砂を入れるなどの作業でした。



角山地区の通電式の様子。

昭和31年2月から3月にかけて東1号線道路沿いに電柱を立てました。角山の雪原を1本の線のように電柱が立ち並び姿は壮観でした。それまでは吹雪の道しるべに柳の枝を立てていましたが、がっちりとした電柱に変わりました。

3月12日正午、テスト送電が行われ、家の電灯が点きました。電気は世田谷部落だけでなく中央角山、東角山にとって待望したものでした。次の日から夜が待ち遠しくなりました。手稲山に日が沈みかけた頃、電灯を点けると子どもたちは飛び上がって喜

びました。どの家も明るく幸せな気分になりました。

江別の電灯は大正3年1月、江別市街の210戸に始まります。角山地区の電化は42年後の事でした。

## 江別の世田谷70周年祝賀会

世田谷部落の住民は、野幌駅に江別隊が到着した昭和20年7月9日を「入植記念日」として毎年、お互いの無事を確認し、絆を深めています。今年も7月9日、中澤牧場で子孫ら約60人が出席し祝賀会を開催しました。最初に入植した33世帯は、終戦の報で8月末には東京に戻った世帯もあつて24世帯となり、さらに翌春の入植時は18世帯に減っていました。現在残るのは、世田谷入植二世の6世帯です。

世田谷70周年実行委員会会長長田辺昭雄さんは「農業に不慣れな者が集まって、先輩たちから学び、懸命に開墾してきた」と話し、また、三好昇市長は「先人が努力され、冷害や水害が多く過酷な中で、

主な参考文献：世田谷物語 叢書・江別に生きる 太田恒雄著（平成元年、江別市教育委員会）、世田谷開村五十周年（平成7年、世田谷開村五十周年記念実行委員会）、えべつ昭和史（平成7年、江別市）、北海道戦後開拓史（昭和48年、北海道庁）



入植記念日にさらに絆を深めます。

開拓された土地。心から敬意と感謝を称し、世田谷の発展を願いたい」と挨拶しました。

江別の戦後開拓は、食糧増産の期待を目的に世田谷を含め現在の西野幌、東野幌、美原、豊幌など8つの開拓地に及びます。豊かに広がる田園の奥に、先人たちの労苦の物語があります。先人への感謝とともに、未来に引き継いでいかなければなりません。

（編集＝企画政策部広報聴課）

## 世田谷二世

**堀江 キヨ子さん(85歳)**  
世田谷というより満州からの引揚げ後で角山の入植は昭和22年、17歳で来た。東京では住むところもない食糧事情も悪かった。先に入植した叔父さん一家を頼って江別に来た。農業経験なし、鍬（くわ）を持ったこともない。満州の生活は炭鉱の機械関係で働いていて電気、水など不便はなかった。でも江別では電気も水もない生活で、洗濯物などは、白い肌着も茶色くなっていた。角山小学校では、昭和23年から4年間、代用教員として働いたこともある。



**横山 民男さん(83歳)**  
三軒茶屋に住んでいた。角山には13歳の時に来た。親に連れられ東京上野駅から汽車に乗った。青函連絡船の甲板から海を眺めるとイルカが飛んでいた。子どもながらによく覚えている。野幌駅に着いて天徳寺で受け入れ農家と顔を合わせ、機農部落に世話になった。入植地の角山に通い、住いをみんなで作った。柱、梁の部材は原始林から運んだと聞いた。壁と屋根は周囲の茅と葦を使用した。秋頃によくできた。冬は寒かったし、寝床にも雪が入ってきた。今では想像できない暮らしだった。



**山形 トムさん(81歳)**  
父親は俳優の山形凡平（ほんべい）、あまり農作業のできる身体ではなかった。東京を出る時にたなかを切った手前、帰るのは悔しい、ここで頑張ろうとなった。地区の世話役として土地改良などの陳情活動などで働いた。自分はまだ若かった。土地が痩せていたので牛を飼うことになった。初めの牛は無償貸付牛で、牛飼いは休みがなかった。芸人の血が騒ぐのか、地元の劇団「川」で演劇活動に参加したこともあった。また絵を描くのが好きで特に牛の放牧の絵画は話題になった。



# 防災の日



## 9月1日配信開始 防災情報提供サービス

9月1日から気象・地震・避難情報などの防災情報の提供サービスを開始します。登録した皆さんの携帯電話やパソコンへメールを配信するほか、電話やファクスへ防災情報を発信します。

また、指定の番号に電話をすると、自動音声により防災情報を確認出来るテレフォンサービスや、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信も行います。

詳しい登録方法などについては、市ホームページか、市役所本庁舎案内窓口にて用意している案内チラシをご覧ください。

防災情報サービスの登録はこちら

Q. メールアドレスをお持ちですか？

持っている 持っていない

### メール配信の登録方法

1. こちらへ空メールを送信。

登録用アドレス  
bousai.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp  
登録用メールアドレスは右のQRコードからも読み取れます。



※ ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp からの返信を受信できるように設定してください。

2. 仮登録通知のメールが届きますので、指示に従って本登録手続きを済ませてください。

### 電話・FAXの登録方法

市役所案内窓口か市ホームページから入手できる利用申込書に記入の上、危機対策室（〒067-8674 高砂町6、FAX 381-1070）へ提出。

こちらもご利用ください

自動音声で24時間いつでも確認  
防災情報テレフォンサービス  
☎ 050-5533-8204

9月1日は防災の日です。防災の日は昭和34年9月に発生した「伊勢湾台風」を契機に、地震や風水害などへの備えを促すために創設されました。この日は関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもあります。

「身の安全は自らが守る」ことを一人ひとりが意識して、災害への備えについて、この日を機に見直してみましよう。

江別市でも、9月以降の防災対策として「防災情報提供サービス」や「シェイクアウト訓練」などを予定しています。防災対策として積極的に活用してください。

## 10月1日シェイクアウト訓練にご参加ください

その場で  
約1分間



シェイクアウト訓練参加登録はこちらへ

※こちらのアドレスは訓練用で、上記の防災情報提供サービスの登録とは異なります。

シェイクアウト訓練は、地震を想定し、予定時間に自宅や職場で一斉に自分の身を守る行動をとることで、とっさの時に安全行動をとれるようになる訓練です。

多くの方が参加できるこの機会に、地震発生時にとるべき行動を考えましょう。

日時/10月1日(木)14時(当日参加が困難な方は、別の時間帯で自主的に参加可)。

訓練方法/当日、訓練開始を知らせるメールが届きますので、地震の揺れを想像し、約1分間その場で身を守る行動を行ってください。実際の地震を想定するためにも、周囲の人に声をかけて、一緒にご参加ください。メール登録がない方は、時間になりましたらそれぞれのタイミングで訓練を実施してください。

参加希望の方は、下記アドレスへ空メールを送信して事前登録していただくか、危機対策室までお名前と参加人数をお知らせください。

危機対策室 ☎ 381-1407、FAX 381-1070  
E-mail=shakeout.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp

※当日メールが届く際、マナーモードにしていても着信音が鳴る場合があります。



登録用メールアドレスはこちらのQRコードからも読み取れます。



# 救急の日

人間の脳は心肺停止後、約4〜6分経つと重い障害を受け、救命率は20%台と言われています。しかし、2分以内に心肺蘇生を始めた場合の救命率は90%程度。いざというときに人の命を救うため、正しい方法を身につけてみませんか？心肺蘇生法やAEDの使用法などを学べる講座・イベントを開催します。



## 救急医療教室 正しい知識が あなたと家族を守る

救急の日・救急医療週間にあわせて講演とAED・心肺蘇生法の実技指導などを行います。ご家族でお試しください。事前申込不要。参加無料。  
主催／江別医師会、江別保健所、江別市  
日時／9月5日(土)10時〜12時30分  
会場／消防本部3階多目的ホール  
内容／記念講演「心房細動と脳梗塞」講師 ゆきとさ循環器内科 佐藤文彦氏、救急活動の実演、AEDの説明と実演、心肺蘇生法実技指導、救急車の見学  
【詳細】救急課 ☎ 382・5465、保健センター 地域医療担当 ☎ 385・4600

## 救命講習 普通救命講習Ⅰ

成人に対する心肺蘇生法、AEDの取り扱いなどを学びます。受講後に修了証をお渡しします。  
日時／10月19日(月)9時30分〜12時30分  
会場／消防本部3階多目的ホール  
対象／市内に在住、在勤、在学の10歳以上(資器材を共有しますので、発熱や風邪症状などで体調不良の方は、実技講習に参加できない場合があります)。  
講師／消防職員および女性消防団員  
持ち物／筆記用具、動きやすい服装  
【申込・詳細】9月7日(月)午前9時から電話受付。消防署救急課 ☎ 382・5465

## 第20回防火 ふれあい大麻

子どもから大人まで誰でも参加可能！楽しみながらさまざまな消防のコーナーを体験して防災への関心を高めましょう。

はしご車の搭乗体験では、高さ約20メートルからの眺めが大人気。応急手当コーナーでは、心肺蘇生法やAEDの扱い方、身近なものを使った止血法なども学べます。

日時／9月13日(日)14時〜16時。  
内容／はしご車搭乗体験(整理券配布・小学生以上)、気象予報士による気象講話、放水体験、消火体験、煙体験、車両展示、応急手当コーナーなど。

【会場・詳細】消防署大麻出張所(大麻元町192・3) ☎ 386・8333



放水体験



はしご車搭乗体験

## 市内で運用開始 ひまわり8号のパラボラアンテナ

はるか3万6千キロ離れた赤道上空にある「気象衛星ひまわり8号」から、江別のパラボラアンテナを経由した観測データの配信が7月7日から始まりました。

台風やゲリラ豪雨、大雪、火山の活動経過など、防災面で欠かせない気象情報が気象庁に送られ、国内はもとより、アジア・太平洋諸国の35か国にも提供しています。

「ひまわり8号」は、観測精度が高くなり、鮮やかなカラー画像の撮影が可能となるなど、新しい技術が搭載されています。

気象衛星の運用は、これまで気象庁が行ってききましたが、初めて民間の気象衛星ひまわり運用事業株式会社(略

称：HOPE)が設立され、北海道情報大学グループの宇宙技術開発株式会社とその業務の一役を担っています。

気象観測業務の継続性を確保するためには、主局(埼玉県鳩山町)のほかに副局を必要としていて、電波状態に影響する降水量が比較的少なく、地震などの災害リスクが少ない場所として江別が選ばれました。

来年度に打ち上げが予定されている「ひまわり9号」からの情報も受信し、江別は、宇宙と世界を結ぶ気象データの“中継基地”となります。

(取材／広報広聴課)





# インターネット回答で いつでもどこでも便利に



# 国勢調査 2015

## 日本の未来をつくる 大切な調査です！

10月1日を基準日として、国勢調査が全国一斉に行われます。

国勢調査は日本に住んでいるすべての人および世帯を対象とする国の最も重要な調査です。

今回の調査では、「インターネット回答」が初めて全国で導入されます。

国勢調査の趣旨・重要性をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

### ● 国勢調査とは？

国勢調査は、日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査で、国の統計に関する基本的な法律である「統計法」に実施が定められています。大正9（1920）年以来5年ごとに実施されており、今回で20回目となります。

### ● 調査内容は？

平成27年10月1日現在、江別市内に「すでに3か月以上住んでいる人」、または「これから3か月以上にわたって住む予定の人」が対象となります。

※江別市に住民登録がない方や外国人の方も対象です。

### 【調査項目】

「世帯員の数」「住居の種類」「男女の別」など17項目。

### ● 報告義務

国勢調査は国の最も重要な統計調査であり、「統計法」により、調査票に記入して提出する義務（報告義務）が定められています。

回答を拒否したり虚偽報告をした場合の罰則も定められています。

## 【調査方法】

**ポイント1**  
インターネットでの回答ができます。

ご自宅のパソコンやスマートフォン・タブレット端末から回答が可能です。  
9月10日ごろから調査員が各世帯にインターネット回答用IDを配布します。

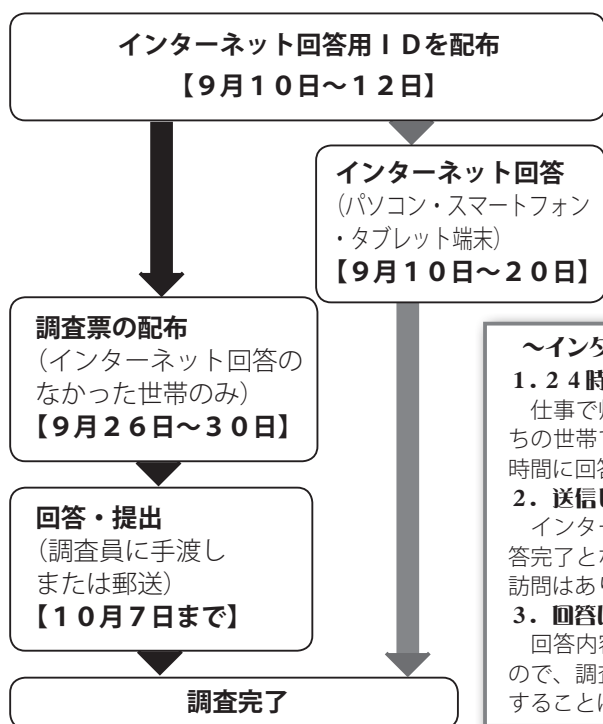
**ポイント2**  
従来の「紙」の調査票でも回答できます。

インターネット回答がなかった世帯には、調査員が紙の調査票を配布します。

**ポイント3**  
「郵送」「調査員に手渡し」のいずれも選べます。（紙の調査票の場合）

従来の紙の調査票で提出するときは、調査員に手渡しする方法のほかに、郵送で提出することもできます。調査員に手渡す場合でも、封筒に封をして提出することもできます。

## 調査の流れ



### ～インターネット回答のポイント～

- 1. 24時間いつでもどこでも**  
仕事で帰宅時間が遅い、日中不在がちな世帯でも期間中はいつでも好きな時間に回答できます。
- 2. 送信したら回答完了**  
インターネット回答をした時点で回答完了となるので、回答後の調査員の訪問はありません。
- 3. 回答は直接国に送信**  
回答内容は、直接国に送信されますので、調査員が記入漏れや内容を確認することはありません。





調査員は顔写真入りの調査員証と腕章を携帯しています

●個人情報を守られるの？  
個人情報を保護するために調査員をはじめとする国勢調査に従事する者には、「統計法」により、厳格な守秘義務が課せられており、調査票の記入内容は厳重に守られません。

調査票に記入していただいた内容は、統計の作成に関連する目的以外に使用することはありません。

また、調査票は外部に漏れないように厳重に管理し、集計が完了した後は完全に溶かされ、再生紙として生まれ変わります。

●かたり調査にご注意ください！  
国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。国勢調査員は、総務大臣が任命する「非常勤国家公務員」です。調査の際には、その身分を証明する「国勢調査員証」を携行しています。

また、国勢調査では、金銭を要求したりクレジットカード番号を聞いたりすることは絶対にありません。

不審に思ったときは、回答しないで、速やかに市実施本部または国のコールセンターにお知らせください。

国勢調査でわかる！  
江別市の人口

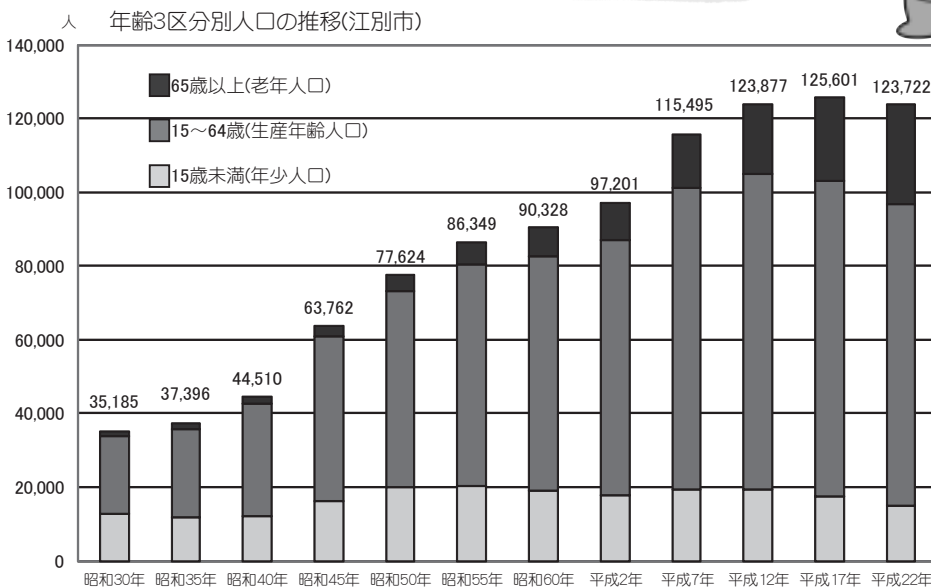
江別市の人口は平成17年の調査時をピークに平成22年から減少しているよ。高齢化率も21.8%とはじめて20%を超えたんだ。



●私たちの暮らしにどのような役割？  
国勢調査から得られる様々なデータは、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、児童福祉、地域の活性化など私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データに

なります。

また、国や地方公共団体における行政施策を立案するための基礎データとして用いられることはもとより、国民の共有財産として、研究・教育活動、経済活動などの幅広い分野でも利用されます。



調査に関してご不明な点などは、お問い合わせください。

●国勢調査江別市実施本部  
☎381-1402

●国勢調査コールセンター  
☎0570-07-2015  
IP電話の場合

☎03-4330-2015

設置期間：8月24日(月)～10月31日(出)

受付時間：8時～21時

(土・日・祝日もご利用になれます)

国勢調査2015キャンペーン  
サイトにてスペシャルムービー  
公開中

詳しくは

国勢調査2015

検索

<http://kokusei2015.stat.go.jp/>



# 野幌駅から8の字で運行

## 10月からバスの試験運行

市では、JR野幌駅を発着点にバスの試験運行を行います。

駅を中心としたまちづくりを進めるため、バス交通の再編の検討に向けた調査として行うものです。皆さんの積極的なご利用をお願いします。

### 利用者はピーク時の約2割

江別市内では昭和34年から路線バスを運行。この当時は、マイカーも少なく、江別地区を拠点として江別市の発展に

合わせて路線も急速に拡大し、私たちの生活の足として利用されてきました。

ところが、昭和40年代後半からの家用車の普及に伴ってバス離れが顕著となり、江

別市の統計では、昭和48年度に約25.4万人いた市内バス路線利用者は、平成25年度には約54万人まで減少しました。バス事業者は、この間、路線の見直しや減便などの合理化に努めてきましたが、さらなる利用者の減少を招く悪循環となっています。

### 地域公共交通会議

バス交通を取り巻く環境が厳しくなる中で、市では、より良い公共交通の実現に向けた取り組みを検討するため、バス事業者や学識経験者、市民、関係機関などのメンバーからなる地域公共交通会議を設置し、具体策の検討を進めてきました。

その検討結果を踏まえて、新たなバス路線を設けて、利用の実態を調べる試験運行を行うこととなりました。

### 1日に23便

この路線は、野幌駅北口から8の字で見晴台方面を経



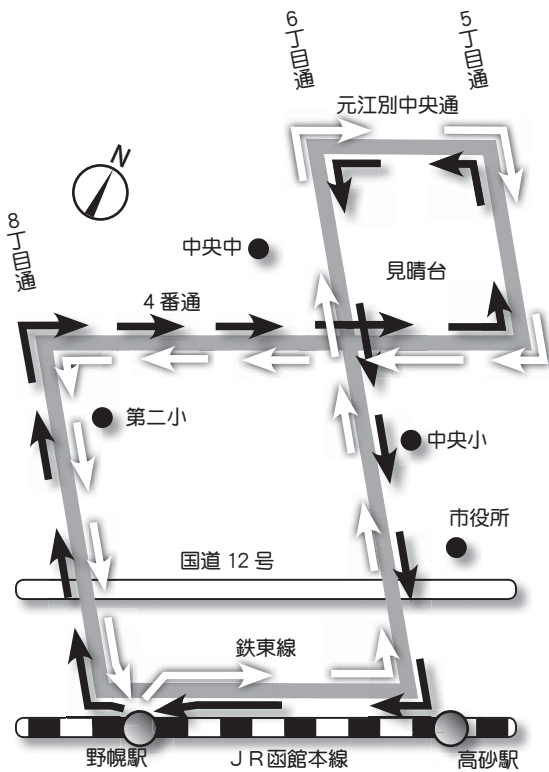
由して、野幌駅北口まで戻るコースで、錦町先回り経由と野幌寿町先回り経由があります。運行期間は、10月19日(月)から翌年2月20日(土)まで(12月29日(火)～1月3日(日)は除く)の約4か月で、運行時間は、JR野幌駅北口始発6時台から終発21時台の毎日23便を予定しています。

この試験運行により、路線バスの需要などを調査し、地域公共交通会議でバス交通の再編に向けた検討を進めることとしています。

試験運行は、関係機関への必要な申請などを行った後に許可を受けて行いますので、詳細は、今後、広報えべつなどでお知らせする予定です。

市では、駅を中心としたまちづくりを進めるため、より便利に、より多くの皆さんにバスをご利用いただけるよう、駅につながるバスの試験運行を行い、さらに検討を進めていきます。

**【詳細】** 政策推進課住環境活性化・公共交通担当 ☎381-1295



えべつリズムエクササイズ完成!

E-リズム  
マスターコース (全3回)



江別オリジナルのダンスエクササイズで、リズムにのって楽しく、若々しい体を目指しましょう。手軽に有酸素運動が体験できますので、ぜひ、ご参加

ください。原則各コースとも3日間参加できる方が対象です。

このエクササイズは「がん予防道民大会」でもお披露目します。受講料無料。

●講師/健康保養ネットワークフィットネスアドバイザー

●会場日程(定員 各会場 80名)

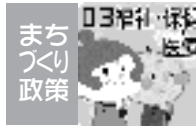
コミュニティセンター 14:00 ~ 15:30		
11/9(月)	11/16(月)	11/30(月)
野幌公民館 10:00 ~ 11:30		
11/4(水)	11/20(金)	12/2(水)
大麻体育館 10:00 ~ 11:30		
11/19(木)	12/3(木)	12/17(木)

●持ち物/上靴(必須)、汗ふきタオル、飲み物

●申込方法/9/14(月)から10/30(金)までに電話。

申込・詳細

保健センター ☎ 385-5252



がんには負けない社会の実現に向け「がん予防道民大会」を開催します。  
がんによる死亡者は年々増加しており、道内の死亡原因の第1位となっています。

大会は、がん予防の知識を正しく楽しく身につける絶好のチャンスです。  
多くの皆様のご来場をお待ちしています。

●主催/北海道、北海道健康近藤啓史さん  
★トーク&ライブ「人と和する音楽」

北海道がんセンター近藤啓史さんの講演



桜庭 和さんのトーク&ライブ

10月9日(金) がん予防道民大会  
がん予防の第一歩は「知る」ことから



づくり財団、北海道対がん協会、江別市

●日時/10月9日(金)13時~15時40分(12時開場)

●会場/江別市民会館大ホール

●内容  
★特別講演「がんを知り、がんに負けない2015」

北海道がんセンター院長近藤啓史さん

★トーク&ライブ「人と和する音楽」

●日時/10月6日・13日・11月10日・17日・12月8日・15日  
●会場/中央公民館  
●対象と定員/65歳以上の介護認定を受けてない方で6日間受講できる市民、先着15名  
●申込/9月7日(月)から電話

●申込方法/9月14日(月)から10月30日(金)までに電話  
●会場/野幌公民館会場、星野食生活改善推進員  
●定員/各日先着30名  
●参加料/300円(当日お持ちください)  
●申込方法/9月14日(月)から、日程と会場を選んで担当の食生活改善推進員へ電話またはフアクス。  
●会場/野幌公民館会場、星野食生活改善推進員  
●定員/各日先着30名  
●参加料/300円(当日お持ちください)  
●申込方法/9月14日(月)から、日程と会場を選んで担当の食生活改善推進員へ電話またはフアクス。

キラリ!健口  
スマイル教室  
お口の健康は健康長寿に欠かせません。  
歯科衛生士、栄養士による老化予防の講話、お口や入れ歯の手入れ、お口の筋力体操などでお口の健康を守りましょう。



シンガーソングライター 桜庭 和さん  
参加料は無料です。当日、直接会場へどうぞ。  
保健センター管理係 ☎ 391-8036

ふれあいレストラン  
市内にお住まいの70歳以上の方を対象に、食生活改善推進員と一緒に食事やレクレーションを行います。  
●日程と会場  
①10月15日(木)12時~14時30分 / 野幌公民館  
②10月23日(金)12時~14時30分 / コミュニティセンター  
●定員/各日先着30名  
●参加料/300円(当日お持ちください)  
●申込方法/9月14日(月)から、日程と会場を選んで担当の食生活改善推進員へ電話またはフアクス。



申込先・詳細 介護保険課 ☎ 381-1067



# 障がいのある方と雇用契約を結び支援する市内初の事業所が誕生 「ジョブクルーあるて」



障がいがあっても働くよ  
こび・やりがいをもち、雇用  
契約を結んで安心して働く  
ことができる「ジョブクルー  
あるて」（市内はじめての  
就労継続支援A型事業所）が  
できました。

A型事業所は、一般の  
事業所に雇用されることが  
困難な障がいのある方が、そ  
れぞれの障がいにあわせた  
仕事への取り組みなどについ  
て、支援を受けることができ  
る場所です。「あるて」で  
は、障がいのある方が介護ア  
シスタントなどの仕事ができ  
、安心して働くことができます。  
「あるて」ができたことで、  
障がいのある方の仕事への支  
援の輪が一層広がります。



Interview  
インタビュー

ジョブクルーあるて  
たかもと りょうきょ  
高本 亮 所長

現在は9名の職員が各施設で  
介護アシスタントや清掃などの  
仕事をしています。今後も就労で  
きる場を広げ、将来的には障がい  
があっても地域で自立した生活を  
送ることができるよう、支援してい  
きたいと思ひます。



▲「ジョブクルーあるて」スタッフ

施設のご利用・詳細については  
「ジョブクルーあるて」へ

住所：大麻東町 15-6  
☎ 788-3375・FAX 387-8668  
詳細はこちらへお問い合わせ  
ください。



▲清掃作業の様子

主な業務内容  
介護施設における介護ア  
シスタントや施設内清掃、  
調理補助など  
利用対象者  
障がい者手帳をお持ちの方  
で、あらかじめ江別市に申請  
し、障がい福祉サービスの  
支給決定を受けた方

## えべつ障がい者しごと相談室「すてら」

市では、8月から障がいの  
ある方の民間企業への就職や  
就職後の定着を支援する、え  
べつ障がい者しごと相談室「す  
てら」を開設しました。

「すてら」は、障がいのあ  
る方が就職活動を行うにあた  
り「どのように活動してよい  
か分からない」などの相談へ  
の助言・支援や、ハローワー  
クへの同行・面接練習などの  
支援を行うほか、就職した後  
も、安心してより長く働くこ  
とができるように、支援員が  
職場巡回などを行い、助言し  
たり相談ののつたりします。  
働きたいとお考えの障がい  
のある方は、お気軽にご相談  
ください。

### 障がい者しごと相談室「すてら」

住所：野幌代々木町 15-3  
☎・☎ 802-7998  
受付時間：月曜日～金曜日  
9:30～16:30 相談無料  
(祝日・年末年始はお休み。  
相談の際は、事前に電話など  
お問い合わせください。)

- 相談支援の対象者
- ① 市内在住で就職や雇用の継  
続を希望する障がいのある方  
とその家族(支援者)
  - ② 障がいのある方を雇用して  
いる、または雇用を希望する  
企業
  - ③ 障がい者就労に関わる関係  
機関



Interview  
インタビュー

「すてら」の  
やまもと まさよし  
山本 雅也 所長

働くことを希望する障がいの  
ある方、障がい者雇用を検討さ  
れている企業や就労を応援する  
各関係機関の皆様を結ぶ懸け橋と  
して、それぞれの希望や不安など  
について伺いながら「働きたい、  
幸せに働き続けたい」を応援して  
いきます。どうぞお気軽にご相談  
ください。



▶ (右) 山本 所長  
と (左) 武田 支  
援員

# チャレンジ! 市民活動!

自分のまちを  
良くしよう!

住んでいるまちを良くしよう!

## 地域活動運営セミナー 参加者募集

**11/15・1/24・2/21** 会場：江別市民会館 37号  
の3日間いずれも日曜日、  
13時30分～16時 (高砂町6)

自治会活動に興味はあるけど、参加するきっかけがない。住みよいまちづくりに協力したい。子どもたちの未来のために安心なまちにしたい。そんな気持ちをお持ちの方を対象にセミナーを開催します。セミナーでは自治会活動に関する講演、学生や自治会長による実践談のほか、参加者によるグループ討議を予定しています。

住んでいるまちが良く「なる」のではなく、住んでいるまちを良く「する」活動を始めませんか。

定員 50名。参加費無料。

対象：自治会活動に関心のある方で自治会長経験の無い方。3日間のセミナーにすべて参加可能な方。

講師：北海道情報大学経営情報学部先端経営学科 藤本直樹准教授

内容：11月15日(日)藤本准教授による自治会に関する基調講演 / 1月24日(日)市内学生の実践談 /

2月21日(日)市内自治会長の実践談

3日間ともグループ討議を行います。

〔詳細・申込〕9月18日(金)までに市民生活課

☎ 381-1018へ電話申込

## 市民活動セミナー＆ワークショップ

### はじめてみよう!市民活動 参加者募集

**10/4(日)** 会場：江別市民活動センター・あい  
10時～12時10分 (野幌町10-1イオンタウン江別2階)

市民活動を推進・活性化するため、セミナーとワークショップを開催します。講師は市民活動の第一人者である、北海道ブックシェアリング代表荒井宏明氏。当日は筆記用具をお持ちになってご参加ください。

定員 25名、参加費無料。

〔詳細・申込〕NPO法人えべつ協働ねっとわーく(☎ 374-1460)へ9月30日(木)までに電話、またはE-mail = info@center-i.jpへお申込みください。

## 市民活動団体の活動を一挙公開

### 江別市民活動見本市

**9/26(土)** 会場：江別市民活動センター・あい  
10時～16時 (野幌町10-1イオンタウン江別2階)  
※ステージ発表は1階センターコート

「江別市民活動見本市」を今年も開催します。市民活動団体によるステージ発表会のほか、「市民活動センター・あい」にて市民活動団体の活動内容をパネルで展示します。

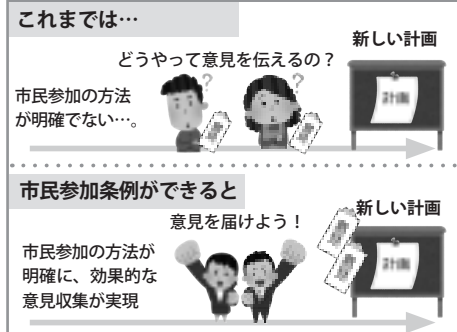
参加団体やスケジュールの詳細は「江別市民活動センター・あい」ホームページ (<http://center-i.jp>) などでお知らせしていきます。

〔詳細〕NPO法人えべつ協働ねっとわーく

☎ 374-1460

解説!

## 市民参加条例ができるとうなるの?



- 市民参加の対象は?
- ①市の基本的な計画の策定・変更
  - ②市民の権利に関わる条例(市税など除く)の制定・改廃
  - ③広く市民が利用する大規模公共施設の計画の策定・変更
  - ④市民に大きな影響がある制度の導入・改廃

○市民参加の方法は?

市民参加を求めるときは、パブリックコメント、市民説明会、ワークショップの開催など、対象となる案件の性質や関心度などを考慮し、下記の方法のなかから、効果的なものを実施します。

市民参加条例についての詳細は今後、市ホームページなどでお知らせします。

## 実施する市民参加の方法

### 附属機関などの設置

附属機関として設置する審議会や委員会などでは、学識経験者や有識者などが話し合いを通じて合意形成を図っていきます。そこに、公募による市民を加え、市民の意見を聴く機会を設けることにより、専門的な検討に市民意見を反映させることができます。

### 市民説明会

施策などの趣旨、目的、内容などを説明し、それに対して市民から直接意見を聴取します。説明会で出された意見などを考慮しながら、市の意思決定を行うことができます。



## パブリックコメント

市の重要な計画や方針などの原案をあらかじめ広く公表し、市民から意見を求めます。提出された意見などを参考にしながら、市の意思決定を行うことができます。

## アンケート調査

対象の案件について、無作為に抽出した多くの市民の方などに意見を求めることにより、市民意識の傾向を把握することができます。

## ワークショップ

施策などについて、市民の方が主体的に検討作業を行うとともに、市民同士の多様な意見交換を通じて一定の合意形成を図ります。そこで示された方向性を考慮しながら、市の意思決定を行うことができます。



# 市民参加条例 10月1日施行

開かれた市政を目指して

市民参加条例とは、江別市自治基本条例に基づき、まちづくりへの市民参加を推進するための条例です。この条例に基づき、市民参加の対象や手続きを明確にし、さまざまな方法で市民の皆さんの意見を反映させ、透明性の高い、開かれた市政を目指していきます。

〔詳細〕政策推進課 ☎ 381-1033



第6回 総合芸術フェスティバル

9月27日(日)13時～江別市民会館大ホール

今年度江別市民芸術文化賞受賞団体などの舞台発表、茶会ほか 入場料 500円

江別市文化協会創立50周年記念  
第62回 江別市民文化祭

参加者を募集します

趣味やサークル活動の成果を展示や実演で披露する、市民の皆さんの文化祭です。川柳や俳句・短歌、囲碁や将棋などの大会も開かれます。文芸・生活文化・展示部門は、10月17日(土)～11月3日(火・祝)に開催。参加希望の方は期日までに申込先へ。会場はコミュニケーションセンター、各公民館、青年センターです。  
〔詳細〕江別市文化協会事務局 ☎598・7161 (火・金曜日の13時～16時30分) 行事名、開催日、会場、申込締切、内容・参加方法などは次のとおりです。

文芸部門

短歌大会

10月17日(土)9時30分受付、10時開始

野幌公民館

申込締切 10月5日(月)参加料500円、懇親会費1500円(出席者のみ)。はがきに未発表の自由詠1首と懇親会出席の有無を記入のうえ、事務局の古寺(こでら)柳子さん(〒069-0831野幌若葉町22-1 ☎384・1955)へ郵送。講師は押山千恵子氏。  
〔詳細〕菅野(かんの)礼子さん(☎385・5676)。

川柳大会

10月24日(土)13時～17時

野幌公民館

申込締切 10月23日(金)／宿題

生活文化部門

囲碁大会

10月25日(日)12時～17時

中央公民館

は「無限」「叶う」「くらやみ」の各3句詠。出席者は当日持ち寄り。参加料1500円(親睦会費含む)。投句のみ参加の方は前日必着。投句料200円。  
〔申込・詳細〕丸山英柳(えいりゅう)さん(〒069-0813野幌町4-1 パラスプラザ401号 ☎・FAX 383・2304)。

俳句大会

11月1日(日)10時～16時

中央公民館

申込締切 10月19日(月)兼題は「露」「爽やか」「当季雑詠」。1人3句以内。参加料千円(昼食代・賞品代)、当日受付で集めます。投句は、はがきか適宜用紙(ただし、投句者は当日出席を条件とします)。  
〔申込・詳細〕西村米一さん(〒067-0015 5条2丁目17 ☎・FAX 383・0641)。



将棋大会

11月1日(日)13時～17時

青年センター

先着順で小中学生の部10名(1クラス)、一般の部50名(A、B、Cの3クラス)。参加料は、小中学生の部は無料、一般の部は800円。当日11時から直接会場で受け付け後、12時から対局開始。  
〔詳細〕守屋健治さん(☎383・7163)。

茶会

11月3日(火・祝)10時～15時

中央・野幌・大麻公民館

直接会場へ。  
〔詳細〕中央公民館／本間佐登美さん(☎381・2055)。  
野幌公民館／上村愛子さん(☎383・6464)。  
大麻公民館／中西瑤子(ようこ)さん(☎386・5509)。

展示部門

※時間はいずれも10時から17時まで(最終日は16時まで)

市民美術展

10月25日(日)～30日(金)

野幌公民館

作品の搬入受付 10月18日(日)13時～16時に団体活動室へ。／市内在住の方(小・中・高校生を除く)の作品展示。作品は絵画のみ(油彩、水彩、日本画、パステル、版画)。



切り絵他)。大きさは、120号以下6号まで2点以内。

異種組合せ可。出品作品の裏面に右上に題名、住所、氏名を記入した出品票を貼付する(応募出品票は3公民館ほかに用意)。作品は額装、吊り紐を取り付けること。30号以上のガラス入り額装は受け付けません。作品の保管に関しては、不慮の損傷や紛失については責任を負いません。出品料は、1点20号以上2千円、同未満千円、2点目は500円増。  
〔申込・詳細〕事務局長の砂山信一さん(☎385・1751)。

一般展示(個人、市民サークルなどで参加できます)

11月1日(日)～3日(火・祝)

中央・野幌・大麻公民館

申込締切 9月11日(金)／藤工芸、園芸、日本画、押し花、手編み、七宝焼、バードカービング、布絵、和紙ちぎり絵、木彫り、ツール、ペインティング、ポトルシップ、ペン習字、ペン書道、児童習字、書道、絵手紙、キルト、パッチワーク、革工芸ほか。サークルや個人の多様な出品物の展示。出品希望者は、各公民館に備え付けの申込書で各公民館へ申し込みください。出品料は、個人500円、団体2千円(文化協会会員は無料)。出品料は会場ごとの事前打ち合わせ会議で集めます。展示種目および会場は、参加申込状況などにより変更になる場合があります。  
〔詳細〕文化協会事務局(☎598・7161) または、生涯学習課生涯学習係(☎381・1060)。

## 江別の地酒「瑞穂のしずく」ができるまで ～稲刈り体験&酒蔵見学ツアー～



9/12(土) 9時～13時30分

やまもと農園、小林酒造(株) (集合…江別市役所前)

江別の地酒「瑞穂のしずく」に使用される酒米「彗星」の稲刈り体験と小林酒造(株)の見学ツアー。どん菓子作りの実演や新米(予定)を使用したおにぎりづくりも。

定員…25人(多数の場合抽選)。  
抽選結果は9日(水)頃に通知)。  
料金…1,000円(申込・詳細)9月7日(月)までに電話で江別の米で酒を造ろう会事務局(農業振興課農畜産係内) ☎ 381-1025へ

## 読まれるブログづくりセミナー



9/27(日) 10時～12時、10/1(木) 18時30分～20時30分

市民活動センター・あい会議室B(野幌町10-1イオンタウン江別2階)

独自の視点で北海道情報を伝えるブログサイトで注目されている北海道大学4年生の山本哲さんを講師に迎え、「読まれるためのブログづくりセミナー」を開催します。話題の拾い方や情報の効果的な発信法などのコツを楽しく学びます。

講師…山本哲氏。定員…20名  
持ち物…ノートパソコン(持参できる方)  
※貸出もしています。料金…無料  
(申込・詳細)9月17日(木)までに電話またはEメールで政策推進課シティブロモート担当 ☎ 381-1033、seisaku@city.ebetsu.lg.jpへ

## 2015 動物愛護フェスティバル in えべつ ～知ってみよう!天売島のネコのこと～



入場無料  
1匹の入場可

9/27(日) 10時～15時(雨天決行) 酪農学園大学ローン広場(文京台緑町582)

天売島では近年、野ネコが増加し、生態系への影響が懸念されています。皆さんも天売島のネコについて興味を持ってみませんか? 今年は天売猫の譲渡会、預かりボランティア説明会、パネル展示を行います。天売猫の預かりボランティアも大募集中!

**主な内容** ワンワン運動会/ディスクドッグ/ドッグアジリティ/札幌国際情報高校によるダンプレ/盲導犬と体験歩行/ドッグダンス/犬のファッションショー/セラピー犬模擬テスト/ポニー乗馬体験/子牛の哺乳体験/羊とのふれあい体験/マイクロチップ/エキノコックスセミナー/つめ切り、耳掃除/パター作り体験/しつけ相談 ほか多数イベント。各種サンプルの配布も行います。ドッグランを利用するには狂犬病の予防注射済票、混合ワクチン証明書が必要です。

当日は大学生協食堂も臨時営業します。

(詳細) 上江別動物病院 吉田 ☎ 381-1221、市民生活課生活衛生係 ☎ 381-1094

## 文化・スポーツの秋 おすすめ出前講座

市では、皆さんの要望に応じて職員などが直接訪問し、市役所で行っている仕事や防災・健康・保健などについて分かりやすくお話しをする「出前講座」を行っています。

今回は全74講座の中から、「文化・スポーツの秋」におすすめの講座を紹介いたします。ぜひ、ご利用ください。

※出前講座のメニュー表は公共施設などで配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

(詳細) 政策推進課 ☎ 381-1295

- ① 図書館の利用のしかた  
図書館の上手な利用方法をわかりやすく解説します。  
(申込・詳細) 情報図書館 ☎ 384-0202 FAX 385-1129
- ② ふるさと歴史講座「太古の時代」  
縄文時代からの江別の歴史を、土器や遺跡を通して紹介します。  
(申込・詳細) 郷土資料館 ☎ 385-6466 FAX 385-4944
- ③ ふるさと歴史講座「開拓の時代」  
屯田兵などによる江別開拓の歴史をお話します。  
(申込・詳細) 郷土資料館 ☎ 385-6466 FAX 385-4944
- ④ 軽スポーツ出前事業  
気軽に楽しめる軽スポーツをスポーツ推進委員が伺って指導します。  
(申込・詳細) スポーツ課 ☎ 381-1061 FAX 382-3434



## 市民菊花展

11月1日(日)～3日(火・祝)

コミュニケーションセンター

申込締切 10月20日(火) / 一般市民と菊友会会員による菊花展。展示品は大菊・小菊などは問いません。種目別審査規定あり。出品料千円。  
(申込・詳細) 菊友会事務局の松下公洋(きみひろ)さん ☎ 384-

1034。

## 市民書道展

11月1日(日)～3日(火・祝)

野幌公民館

申込締切 10月1日(木) / 市内在住の方の書道展。未発表作品(漢字、かな、近代詩文、墨象、ほくしょう、篆刻(せんご)、刻書)

## 市民陶芸展

11月1日(日)～3日(火・祝)

野幌公民館

申込締切 9月30日(水) / 市

くしよ(など)を額装または軸装で出品。出品料500円。出品表は各公民館受付に設置。  
(申込・詳細) 山田静山(せいざん)さん ☎ 382-0793。

## 市民盆栽展

11月1日(日)～3日(火・祝)

申込・詳細 塩崎隆さん ☎ 382-4870。



切15日 申込締切 10月10日(月) / 市内在住の方と盆栽愛好会による盆栽展。出品料は千円。  
(申込・詳細) 中川隆さん ☎ 382-3965。

## 野幌公民館

